



[男女共同参画社会の実現をめざす情報誌]

OKAYAMA

2010.1

vol.35

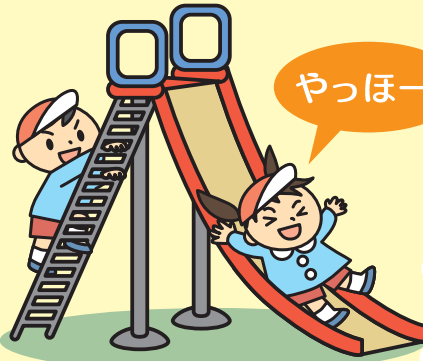
さんかくウイーク 2009

新シリーズ

クローズアップ「さんかく岡山」

登録団体 vol.1

さんかく社会のバイオニア vol.7



やっほー!

特集

次代の種を 育てる男たち

たね

～新しい風を運んで～



岡山市

次代の種を育てる男たち

～新しい風を運んで～

一昔前は女性が保育を担うものと考えられ、保育を職業とする人は「保母」と呼ばれていました。そんな、女性の分野の代表格とも言える保育の世界に、少しずつ男性が増えてきています。今号では、次世代を担っていく子どもたちに寄り添い、その成長に直接かかわる保育士という仕事に魅せられた男性たちを紹介します！

保育士になるため、現在、中国短期大学保育学科で勉強中の男子学生のみなさんに、編集委員2人がお話を伺いました。

松井委員 保育士をめざそうと思った動機は何ですか？

村上 中学と高校の時に保育園でボランティア活動をしてやりがいを感じ、自分に向いていると思いました。

文屋 昔から、周りにいる小さい子たちの世話をよく任されて一緒に遊んでいたの、それを仕事にしたいと自然に思うようになりました。とにかく子どもが好きですね。

藤田 自分がお世話になった保育園の先生の印象・記憶が今でもとても強くて。そんなふう印象に残る保育士に自分もなりたいと思いました。

松井委員 その先生は男性ですか？

藤田 いいえ、ちがいます。

合田委員 この中で男性保育士に教えてもらった経験のある人はいますか？

全員 ありません。

合田委員 男性の保育士が初めて誕生したのって、30年ぐらい前なんですよ。それから増えてはきているけれど、まだまだ男性に保育される機会は少ないですよ。保育士をめざすことについて、周りにはどんな反応でしたか？

中田 母からは、給料が安いのではと心配されて口論になったりしましたが、最終的には本当にやりたいのならば途中でやめないように頑張りなさいと言われてもらえました。

文屋 当初、怖くて父にはなかなか言い出せませんでした。母からは、遊びと違って仕事にするのは厳しいし、給料も安いよと言われて、くじけそうになりましたが、最終的には父にも応援すると言われて決意できました。

松井委員 実際に保育学科で学んでみて、どんなことを感じていますか？

文屋 対応する子どもの範囲が0歳から5歳と広いので、必要な知識がとても多くてたいへんな道のりだと感じます。

藤田 自分の考えがまだまだ浅いので、これから、応用もできるように基礎をしっかり学んでいきたいです。

村上 勉強の幅がとても広いと思います。主に実技だけかと思っていたので、保育の歴史や、憲法、社会福祉など、こんな科目もあるのかと。2年生になって実習に行った時は、日誌や指導案などを書くのが大変で、とても苦労しました。

中田 僕も指導案の作成は苦痛でした。

合田委員 大変だけど、やっぱり保育士になりたい？

全員 それはもちろん。

村上 実習では子どもの姿にひきつけられました。子どもから必要とされているのを感じたら、仕事は大変だけれど、やはり保育士になりたいと思います。

松井委員 ところで、大学では圧倒的に女子学生が多いですよね？

田丸 僕らの学年は、115人中男子8人なんで少ないなあと思っていたら、先輩の学年はもっと少ないと聞いてびっくりしました。

藤田 最初、女子の数に圧倒されて、この中でやっていけるのかと思いました。

中田 未だに積極的に話しかけにはいけないこともあります。

合田委員 男性は有利だとか、不利だなど感じることはありますか？

中田 力仕事はやはり有利です。

村上 絵本を読む時、かわいい声で読めないし、歌も高い声が出ないのが悩みです。



ちなみに…

岡山市立保育園の男性保育士の割合は1.2%です。

中国短期大学保育学科の皆さん



むらかみ みつひさ
村上 弥久 2年
好きなもの
バレーボール、買い物



なかた ひろ
中田 央 2年
好きなもの
絵を描くこと



たまる あきよし
田丸 晃義 1年
好きなもの
音楽



ふじた まさゆき
藤田 昌幸 1年
好きなもの
バイクに乗ること、バスケットボール



ぶんや しゅんすけ
文屋 俊輔 1年
好きなもの
絵を描くこと、サッカー

田丸 男性にとっては、厳しい職場かな、と。というのは、保育所に実習に行った友達が「男性保育士は敬遠されている」と先生から言われたらしいんです。保護者の中には、子どもを産めない男性に何がわかるのかと、男性に保育してもらうことに抵抗がある方もいらっしゃるの。



合田委員 “子育て=女性”のイメージがまだ強いのもかもしれませんね。確かに産むことができるのは女性ですが、保育をすることができるのは、女性だけではないですよ。いろいろな考え方がありますが、女性と男性と一緒に保育するのがいいんじゃないかと私は思っています。

文屋 そう言ってもらえると嬉しいです。

田丸 ちょっと自信が出てきました。

松井委員 しかし、どうして男性の保育士が少ないんだと思いますか？

藤田 男性は仕事、女性は子育てという文化が根づいています。根本から変えていかないと男性保育士が増えないと思います。

田丸 保育の仕事は給料が安いんですよね…。男は就職して結婚し、家庭を支えるというときに給料の問題がネックになるのではないのでしょうか。

松井委員 「男は一家を養わなければならない」これもジェンダー(※1)ですよ。最近は共働きが多数派だから、男性も仕事漬けにならないで他のことに目を向けよう、ワーク・ライフ・バランス(※2)が大事と言われてはいますが、実際のところは、男性は仕事優先で、稼ぎ頭ですもんね。

田丸 男性は育児休業をとらないし。子どもがお父さんと接するのは週末だけ。お父さんにいっぱい遊んでもらった、抱っこしてもらった、そういう経験をした人が増えれば、自然とそういう職(保育)を選ぶ男性も増えていくんじゃないかなと思うんです。男性も自分の子どもを育てられる社会になれば、と思います。

合田委員 男性も子育てにしっかり関われる社会にしていきたいですね。最後に、どんな保育士になりたいか、聞かせてください。

藤田 保護者との連携を大切にする保育士です。保護者からのクレームにも真摯に対応し、子どもを預ける保護者に不安を与えないような保育士になって、認められたいと思います。

文屋 子どもたちに「保育園に行くのが楽しい」と思ってもらえる、そして子どもを通して保護者の方にも、信頼していただけるような保育士になって、こんな素敵保育士がいるんだよ、と言われたいです。

田丸 子どもが悪いことをすれば悪いと注意し、良いことをすればほめるメリハリのある教育ができる保育士になりたいです。また、あとに続く後輩に保育士の魅力を伝えられるようになりたいです。

中田 自分が高校のとき、部活中に生死をさまよう事故に遭って親にとっても心配をかけました。その体験から、親が子どものことを本当に大切に思っているということが人一倍よくわかります。保育園に通う子に何かあったら大変なこと。「命」を守る保育士になりたいです。

村上 常に笑顔で誰からも信頼される保育士。この先生がいるから安心して子どもを預けられるという保育士をめざします。「この先生がいるからこの園にしよう」と言われるぐらいになりたいです。

編集委員 なりたい自分に向かって頑張ってくださいね。期待しています。

(※1)ジェンダー(社会的性別)

人間には生まれつきの生物学的性別(セックス/sex)がある。一方、社会通念や慣習の中には、社会によって作り上げられた「男性像」、「女性像」があり、このような男性、女性の別を「社会的性別」(ジェンダー/gender)という。「ジェンダー」は、それ自体に良い、悪いの価値を含むものではなく、国際的にも使われている。

(※2)ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)

老若男女誰もが、仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など、様々な活動について、自ら希望するバランスで展開できる状態である。

男女共同参画社会とは…

男性も女性も、性別にかかわらず社会のあらゆる分野の活動に参画して、個性や能力が十分に生かされる社会のこと。



中堅保育士 インタビュー

穏やかで、あたたかい雰囲気をもった“いい感じ”の保育士さんがいるよ。そんな噂を聞きつけて、可知保育園をたずねました。「次は私の番!」昼寝を終えた子どもたちが、着替えを手伝ってもらおうと、先生のもとにかけよります。子どもたちに囲まれて大忙しの若林正浩先生は、岡山市立保育園初、男性保育士のパイオニアとして保育現場で働きはじめて8年目になる中堅保育士です。



岡山市可知保育園
若林正浩さん

Q1 保育士になった動機をお願いします

A1 人と関わる仕事をしたいと思っていて、介護福祉士も候補だったんですけど、やっぱり幼児期という大事な時期に子どもと関われる保育士って素晴らしいな、と思って。

Q2 保育士になってみていかがですか

A2 想像以上に女性職場で驚きました。休憩室に入っても何だか心が休まらないし、施設も男性を受け入れる準備はできていないので、着替える場所もなければ、トイレも女性用。とにかく気を遣うことが多くて最初はとまどうことだらけでした。子どもや保護者にもとまどいはあったように思います。保護者から「男の先生か…」という目で見られたり、赤ちゃんが、僕の顔を見ただけで泣いたり…。でも、僕も周りも次第に慣れていった感じで…子どもたちは、肩車とかぶらさがりとか、思いきりのよい遊びができる僕のもとにどんどん寄ってきてくれるようになりました。保護者からは育児の相談を受けたりするようになって、必要とされていると感じることも増えました。そういう時、保育は男性にもできるという自信が持てて、嬉しかったですね。

Q3 今と昔で変わったと感じることがありますか

A3 最近では、送り迎えで父親の姿も見かけるようになりましたし、園の行事に参加する父親も増えています。男性保育士も自然に受け入れられるようになってきたのではないのでしょうか。

Q4 どんなときに、やりがいを感じますか

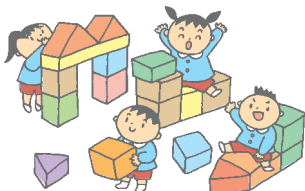
A4 子どもの成長に関われるのが一番ですね。悩みもあるんですけどね。例えば運動会などの行事でも、4月生まれと3月生まれでは1年違うので、この時期にみんなに同じことを求めることはできないということもあって、どうやったら子どもたち一人ひとりが力を発揮できるか、あーでもないこーでもない…。そういう時に、同僚のやり方で「うまくやってるなあ」と感じたことなどを、自分なりに取り入れたりしながら子どもと気持ちの一つになって一緒に喜ぶ時なんかは、特に。

Q5 どんな保育士をめざしたいですか

A5 今、僕自身は子どもと一緒に成長していくという気持ちを持って、子どもの発達をきちんとサポートしていける保育士をめざしています。子どもたちには、いろんな人と関わって育ててほしいですから、男性も女性も保育に携わるといことは大事なことだと思います。男性保育士が社会に広がるにはもう少し時間がかかると思いますが、家庭や地域で、いろんな人が子育てに関わっていける社会になっていけばいいと思います。



取材者:田中編集委員





新人保育士 インタビュー

青い空、澄んだ空気、微風でそよぐ一面の稲穂、そんな田園風景の中に見えてきたのが、かわいらしいゾウさんやパンダさんの形をした柵で囲まれた広い園庭のある錦保育園。その一室に通され待っていると、「こんにちは!!」と、暑さをふきとばすような、明るく元気の良い松枝先生の声。本人は「人と喋るのは苦手」と言いますが、そんな風にはとても思えない、気さくな感じで取材に応じてくれました。



岡山市錦保育園
松枝武昭さん

○保育士をめざした理由

僕が保育園児のとき、担任が男の先生だったんです。体を動かす遊びをいっぱい教えてくれて、とても楽しかったし、大きくなってからも、同級生と遊ぶのと同じぐらい近所の小さい子と遊ぶのが好きだったので、中学生ぐらいの頃から家族にも保育士になりたいと話していました。

○保育士になってみて

保育については大学で勉強したり、実習も体験しましたが、実際に仕事として子どもたちと一緒に生活をするようになると、全然違いましたね。子どもたちと付き合っていくと、子どもは単純じゃない、一人ひとり違う思いや考え方があるということに気付かされました。それに、大人をよく見てるな、と。こっちが一生懸命やっていたら子どもも一生懸命ついてくるんですよ。逆に、いい加減にやっていたら、いい加減な反応が返ってくる。反応がストレートに返ってくるのは、面白いです。

○やりがいを感じる時

子どもはどんどん成長していくから、その過程を間近で見れるのは、すごくやりがいになります。5歳児がうらじゃ踊りに挑戦するのに、まずは私たち大人が頑張るところを子どもたちに見てもらおうということになって、昨年、保育園職員でうらじゃ連を作って祭りに参加したら、それを見た子どもたちが、いつも以上にはりきって頑張ってくれて…。その時は、気持ちが伝わったと感じてうれしかったですね。

○困ったことはありましたか

僕は寡黙なタイプなので、保護者の方とほとんど挨拶程度の会話しかできなくて、最初は苦勞しました。他にも、絵を描いたりピアノを弾くなど、苦手なものは結構あります。でも、ベテランの先生からアドバイスをいただいて、とにかく前向きに「やってみよう」と。やってやれないことはないという気持ちで、常にチャレンジしています。最近は、先輩から、進歩したと言ってもらえるようになりました。保育ってできるもんですよ。苦手と思っている人も、飛び込んでいって大丈夫!



○どんな保育士をめざしていますか

子どものころ、保育園で先生に認められた時のうれしかった記憶は、今でも励みになっていますね。僕も、子ども自身のできる力を引き出すサポートをしつつ、がんばる姿を認める、そういう保育士になりたいし、これから子どもや保護者の方々との信頼関係を深めていけるようになりたいと思います。

取材者:三宅編集委員

「保育士になりたい」という強い気持ちで進路選択をした彼らでさえ、「男が…?」というまわりからの目に悩まされていたのも事実。男女共同参画というと「女性の社会進出」や「女性の権利の尊重」のことと思われがちですが、女性中心の分野に男性が入っていきやすい社会を作っていくことでもあるんですよ。誰もが、自分の選んだ道をもっと気持ちよく進んでいけるようにしていきたいですね。

そういえば、みなさん口をそろえて「子どもの成長にかかわるのは幸せだ」って言っていましたよね。私たちも家庭や地域で“幸せ体験”できたらいいですね!



岡山市男女共同参画推進週間 6月21日～6月27日

さんかくウイーク2009

プレウイーク
6月14日
～6月20日
フォローウイーク
6月28日
～7月4日

男女のわ・輝くわ・さんかくのわ

今年も、6月21日から27日の男女共同参画推進週間（さんかくウイーク）と、その前後一週間（プレウイーク・フォローウイーク）に、さまざまなイベントを行いました。

6/28 記念イベント／市民文化ホール
講演：あるがままの自分でいこう！
～納得できる人生を送りたいあなたへ～
講師：田嶋陽子さん（女性学研究者）



最優秀イラスト

テーマに沿って描かれた
講元 愛さんの作品です。

男女平等ということに関して、日本が世界から非常に遅れていて問題も山積であるという現状と、自分のこれまでの経験などを交え、優秀な女性をもっと外で力を発揮しないと、個人にとっても国にとっても大きな損失であること、みんながもっと幸せに納得のいく人生を送るためには、人間としてどう生きるのかを自分で考えた上で「こうありたい自分」を知って、その気持ちに正直に生きていくことが大事だと話されました。

男女共同参画社会の形成の促進に関する事業者表彰

雇用の分野における男女共同参画社会の形成に関する取組の普及を図るため、当該取組を積極的に行っている2事業者を表彰しました。

株式会社 ビザビリレーションズ

＜選考理由＞「一時短時間社員制度」や「フレックスタイム制」の活用により、仕事と育児・介護の両立を支援するとともに、業務のどの部門にも男女の区別なく配置し、女性社員を積極的に管理職へ登用するなど、女性の能力発揮を推進するものとして高く評価した。



みのるホテル事業株式会社

＜選考理由＞宿泊した人から好評を博している「後樂園の資料」や「街歩きのための手作りマップ」の作成において、女性社員の創意工夫を活かすとともに、女性社員を積極的に管理職に登用するなどの取り組みを、女性の能力発揮を推進するものとして高く評価した。



さんかく岡山登録団体やさんかくウイーク2009実行委員会が企画した事業

6/13



長寿社会の新たな視点
～ジェロントロジー（老年学）とは～

6/20



女性作曲家を聴く
～知られざる珠玉の名曲～

6/21



さおりとダーリンの家中
～国際結婚、これが現実!～

6/24



変わるお葬式、消えるお墓PartIII
～「家」にこだわらない生き方とその人生の締めくくり～

オープニングセレモニー・パレード&イベント・PR活動



オープニングを飾るパレードや、数々のイベントをさんかく岡山で開催したほか、さんかくウイークCMを作成してリットビジョンで放映したり、路面電車でコンサートを開催してさんかくウイークをPRしました。

公民館での行事

期間中、市内のすべての公民館で、男女共同参画にまつわる講座を開催しました。





10周年を迎えた「さんかく岡山」をよろしく!

男女共同参画社会推進センター「さんかく岡山」は開設10周年を迎えました。女性の再就職や性別による健康問題、災害と暴力、外国人や高齢者の問題などを男女共同参画の視点で捉えた講座やイベントを市民のみなさんとの協働企画で実施しています。「市民のひろば」や「さんかく岡山」のホームページをご覧ください。

さんかくソング ~未来へ~ CD・DVDを希望団体へ貸し出します!

一人ひとりが性別に関係なく、個性を認め合い、輝くことができる社会になることを願い、さんかく岡山10周年記念事業実施グループが中心となって、「さんかくソング~未来へ~」という歌を作りました。そして、女性消防士や運転手、男性看護師等市民が出演するプロモーションビデオも制作しました。「さんかく岡山」のホームページから見るができますので、ご感想等をお寄せください。また、会合のテーマソングや愛唱歌としてご活用ください。貸出条件等、詳しくはさんかく岡山までお問い合わせください。

さんかく岡山 岡山市男女共同参画社会推進センター

〒700-0822 岡山市北区表町三丁目14番1-201号(アークスクエア表町2階)
TEL 086-803-3355 FAX 086-803-3344
<http://www.city.okayama.jp/shimin/danjo/center/> <E-mail>sankaku@city.okayama.jp



ひとりひとりの生き方を大切にしよう
ひとりひとりの違いを認め合おう
ひとりひとりの命を大切にしよう
ひとりひとりの幸せを認め合おう

この街で暮らして この街で育って
この街をみんなで 創りたい

岡山 おかやま みんなが生きる街
岡山 おかやま 心のふるさと

<歌詞 (1番)>



シリーズ クローズアップ「さんかく岡山」登録団体 vol.1

特定非営利活動法人 さんかくナビ

今号から「さんかく岡山」登録団体の紹介を始めます。今回ご紹介する「特定非営利活動法人 さんかくナビ」は、DV(配偶者からの暴力)などの暴力を受けた被害者の女性や子どもへの支援、予防啓発などの活動により、地域活動等にチャレンジすることで輝いている女性個人・女性団体等を顕彰する「内閣府 平成21年度女性のチャレンジ賞特別部門(安心して暮らせる地域づくり)」を受賞しました。理事長の貝原己代子さんにお話を伺いました。

1995年に北京で開催された「第4回世界女性会議」や「日本女性会議'97岡山」をきっかけに、貝原さんは女性の社会参画や女性への暴力に強い関心を持つようになります。先進的と言われる岡山市の男女共同参画の条例づくりに関わり、活動範囲を広げていく中で、条例はできても、行政の支援が届かない部分での民間の支援、特にDV被害者一人ひとりに寄り添った支援が必要と感じ、仲間とともにNPO法人を立ち上げました。そして、女性が自立することをめざして、主にDV被害者のためのシェルター運営・サポート活動・電話相談と訪問介護事業などの活動をしています。

今、特に力を入れているのは、次の加害者も被害者も生まないために、DV被害者の子どもへ支援をすることです。また、親密な関係にある若い人の中で起こるデートDVを広く社会に知ってもらう活動に重点的に取り組んでいます。

夢は、全てをまかなえる女性の自立支援センターをつくること。被害者が安心できる場所で、社会資源の活用や就職活動・弁護士等への相談もできるなどワンストップサービスが受けられるセンターが必要であると、熱意を持って語られました。



小淵大臣(当時)から
チャレンジ賞を受け取る貝原理事長

関連情報

「さんかく岡山」登録団体は、随時募集しています。
登録団体になると、会議室の使用料減額や市民協働事業への応募ができるなどの特典があります(登録は無料)。詳しくは、「さんかく岡山」へお問合せください。ホームページにも詳細を掲載しています。
<http://www.city.okayama.jp/shimin/danjo/center/touroku.html>

岡山市男女共同参画相談支援センター (配偶者暴力相談支援センター)

相談 受付時間

平日 10時~19時30分
(火曜日・年末年始12月29日~1月3日を除く)
日・祝 10時~16時30分

相談ほっとライン ☎086-803-3366

〒700-0822 岡山市北区表町三丁目14番1-201号 アークスクエア表町2階
男女共同参画社会推進センター「さんかく岡山」内



陸上中距離 小林祐梨子選手

朝は5時に起床。2時間ほど練習をして、姉と二人で住む兵庫県から岡山大学へ新幹線通学。授業を終えて帰宅後に3時間ほどの練習、食事をとって10時半には就寝。今は勉強と陸上が中心の生活です。

自由に過ごせる日曜日の午後は、姉と一緒に海を眺めに行ったり、温泉に行ったりして過ごします。ぼーっとするのは好きだけど、体を動かすのは、もっと好き。自宅から6kmほど離れた温泉へ行くのに、車で行くか走って行くか迷うことがあって、走って行くのを選ぶこともあります。

■走る喜び

運動が好きというわけではなかったけれど、小学校のマラソン大会ではずっと優勝していたので、その時の気持ち良さが今走ることに繋がっています。

一番心に残る試合は、高校時代にキャプテンとして2区を走った全国駅伝大会。全国トップ5のうちの4人がチームにいて、余裕の優勝候補。ところが私以外の3人が故障してチームは大変な状態に。タスキを受けた時の順位は23位。キャプテンとして1区の方も取り返そうという気持ちで走り、20人を抜くことができ、チームも優勝。個人で日本記録を出したりもしたけれど、みんなで一つのことを達成したあの時は、その何十倍もうれしかったです。

■プレッシャーや辛さも味方に

スタートラインに立った時は周りのことを気にしないで、自分と向き合って走ると気持ちが楽になります。それは、経験を重ねてできるようになってきたし、日頃の努力が自信にもなっています。好きな言葉は、有言実行。大きいことを言ってしまって後悔することもあります。言ったからには絶対やらないと、というふうに良い意味のプレッシャーを自分にかけています。

陸上をしていると故障などで辛い時もありますが、その気持ちに負けると終わりなので、悪い時にどれだけできるかにポイントをおいて、そういう時こそプラス思考で考えます。

■走り続けるコツ

生活にメリハリをつけることが大切です。勉強はダラダラせずに短時間でも集中してやる、練習も走り始めたら集中するというように、切り替えているので、続けられるのだと思います。

陸上はタイムや順位が結果として出るし、努力しても故障でスタートラインに立てなければ評価されない。そういう厳しい世界で戦って、結果を出せることが面白いところです。人からはすごいと言われるけれど、好きなことをしているので、そういう感じはないし、応援してくださる人がいるのは、自分にとってプラスで、さらに力がもらえるように感じます。私のレースで他の人を元気づけることができるのは恩返しになるし、これから色々な機会で見返していきたくて結果を残していくことが私に一番できることかなと思います。

目標は世界大会で入賞すること、3000mと5000mで日本記録を作ること。それと、陸上だけにとらわれないで、陸上競技者ということよりも一人の人間として応援してもらえるような人柄をめざしたいです。

人間としての考え方や感謝の気持ちの持ちようを指導してくれるという監督、食事作り・洗濯・マッサージ・試合の申込などマネージャーを務めるお姉さん、高校・大学など進学について温かく見守り協力してくれている両親、「がんばってよー」と声をかけてくれる岡山や兵庫の人、そうした周りの人への素直な感謝の気持ちや生きる姿勢など、学ぶことが多い取材でした。



プロフィール

1988年生まれ
2006年1500m日本記録樹立
2008年北京オリンピック5000m出場
2009年世界選手権5000m決勝進出
岡山大学在学

DUO vol.35 編集後記

10年ぶりに男女共同参画課に戻ってきました。が、あまりの変化に驚くばかり。課の名前も以前は女性政策課だったし…。当時は「さんかく岡山」や「相談支援センター」はまだ存在せず、「さんかく条例」も「さんかくウイーク」もありませんでした。情報誌の名前は「女性のひろば」から現在の「DUO」に変わり、創刊18年となりました。これからもいろいろな情報提供にトライしていきたいです。